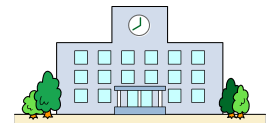


2学期保護者・児童アンケートの集計からみる成果と課題について

2学期末には、アンケートに御協力いただきありがとうございました。保護者の皆様とこどものアンケート結果からどのような成果や課題が見られたのか、学校は改善に向けて来年度、どのような取組をしていくか、職員で話し合ったことをまとめました。



アンケート結果・結果から分かること

※数値は、アンケート結果のA(とてもそう思う)とB(そう思う)を合わせた結果の割合です。

注目したアンケート項目とその結果		R6 2学期 結果 (1学期)	
		児童	保護者
①	宿題や自主学習に取り組んでいる。	85.7%(87.0)	85.7%(80.0)
②	みんなで学び合って学習を進めている。	90.9%(96.1)	96.1%(93.3)
③	白糸タイムで興味をもって調べたい課題を見付け、意欲的に追究している。	92.6%(92.6)	88.9%(90.4)

① 宿題や自主学習に取り組んでいる。

来年度も引き続き、白糸小学校の授業作りを「対話で深める」に加え、「こどもが自ら学ぶ」を重点に進めています。学校は、授業と家庭学習のつながりを意識した授業づくりを進めて、こどもが自主的に学習に取り組む態度を育てていきます。各学年2学期の後半から、生活科や理科、社会等の教科でこどもが気になることを調べてくる家庭学習や、算数で次に学習する問題を解いてくる家庭学習を出してきました。保護者の皆様には、必要に応じて家庭学習の支援をお願いします。

② みんなで学び合って学習を進めている

授業中「楽しく学び合っている」ととらえているこどもが多い中で、授業に難しさを感じているこどももいるようです。どの子にとっても、楽しく分かりやすい授業を目指し、職員の研修を深めていきます。ペア学習やグループ学習など多様な学習形態を取り込んでいきつつ、さらに個に応じた指導や支援に力を入れていきます。

③ 白糸タイムで興味をもって調べたい課題を見付け、意欲的に追究している

こどもは意欲的に白糸タイムに取り組んでいることがわかります。白糸地域に詳しい方の情報をこどもと共有するために郷土資料コーナーを生活科室に設置しました。引き続き、各教科で学んだことを生かして白糸タイムの課題を解決したり、体験活動や地域の方との交流を充実し、さらに学

びが深まったりできるよう支援していきます。

◇注目したアンケート項目とその結果		R6 2学期 結果 (1学期)	
		児童	保護者
④	読書の月目標を達成している。	70.1% (80.5)	
⑤	時間を守ったりあいさつしたりできる。	89.6% (84.4)	87.0% (88.0)
⑥	早寝・早起きをしている。	80.5% (80.5)	79.2% (77.3)
⑦	メディアコントロールの取組みを進んで行っている。	84.4% (84.4)	67.5% (60.0)
⑧	進んで取り組める活動がある。	90.9% (90.9)	96.1% (92.0)
⑨	みんなの役に立っている。	89.6% (87.0)	96.1% (96.0)

④ 読書の月目標を達成している

月・水・金曜日の「読書タイム」は、輪番制で学校図書館を利用しています。こどもの読書に取り組む姿勢がよくなってきています。今後も引き続きこどもたちが本に親しめるような活動を工夫していきます。また、読書の月目標については、こどもがより達成感を得られるようページ数ではなく静岡県の施策に合わせた冊数で設定していきます。

⑤ 時間を守ったり、あいさつしたりできる

引き続き、全校で白糸小の合い言葉「じかんを見て静かに行動、ライトのような笑顔で登校、いいところをたくさん見付け、共に自然を大切に育て安全に暮らす白糸小」を意識して生活できるよう集会で白糸の合い言葉に触れるなど、意識付けをしていきます。

⑥ 早寝・早起きをしている ⑦ メディアコントロール取組みを進んで行っている

こどもは「早寝・早起きをしている」や「メディアコントロールを意識して生活している」に対して、昨年度よりABの割合が15%程低くなっています。来年度から、メディアコントロールデーの日のドリルタイムで、情報モラルや情報リテラシー、メディアコントロールを学ぶ情報教育を設定したいと考えています。寝る時刻、起きる時刻やメディアの使用方法については、御家庭でも話をしてみてください。

⑧ 進んで取り組める活動がある ⑨ 自分はみんなの役に立っている

今年度から始まった「こどもイベントの日」などを継続し、こどもが主体的に取り組める活動の機会を設定します。また、ペア学年(1, 6年、2, 4年、3, 5年)の活動や委員会活動を互いにサ

ポートするパートナー委員会の活動を充実し、自己有用感を高めていきたいと考えています。

その他

上記の他に、〇子どもたちが楽しみながら体を動かし、運動習慣を形成する白糸レッチャや、サーキットの設営を継続して取り組んでいきます。

〇子どもたちが安心して学校に通えるよう、教育相談週間を拡充し教育相談月間を設定し、多くの職員でいじめや不登校の問題に関わっていきます。

以上のようなことを職員間で共通理解しました。

保護者アンケートいただいた御意見より(一部抜粋)

生活態度やお友達との関係でトラブルになりそうなとき、お時間をとっていただき、親身に話を聞いていただき本当にありがたかったです。日々の学校での様子もお知らせしていただき、安心しています。

・教職員一同の励みとなるお言葉、本当にありがとうございます。

下校時間を確認して病院などの予定を入れても教室から出てこなかったり、まだ支度が終わっていないからと言われて帰れなかったと言っていたこともあります。予定がありますと伝えた場合は、下校時刻を守るようお願いしたいです。

・下校時刻を守るようにしていきます。突発的な生徒指導等により、やむを得ず下校時刻が過ぎてしまうことがあるかもしれませんが、その際には遠慮なく職員室に声を掛けていただければ職員が対応します。

マラソンが1位2位ではなく、「いろは」になったと子供から聞きました。(中略)なぜ、いろはなのか一度説明が欲しいと思いました。

・子どもたちには、「達成感」を大事にして欲しいとマラソンを教育計画に組み込んでいます。「〇位だったから、駄目だった」といった自分を卑下する声が聞こえたり、友達と比較したりするため、令和6年度より、順位ではなくいろはにしています。

この先、人数が減っていく一方で心配です。小さな学校なので、1～6年生や先生方と仲良く楽しそうに過ごしていることはありがたいですが、来年度以降、かなり深刻だと思います。他校との交流授業も楽しそうですが、できれば早く統合してほしいです。

・学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会及び地域説明会が開かれ、市役所の方と保護者や地域の方との協議が行われました。今後もこの件に関して、積極的に皆さんの声を市へ届けていただけたらと思います。

☆様々な御意見をありがとうございました。いただいた御意見をもとに、教育活動を見直し、取り組んでまいります。今後も御支援、御協力をよろしくお願い致します。